



歴史が新たな歴史を生む 先人から学ぶ 未来へのチカラ

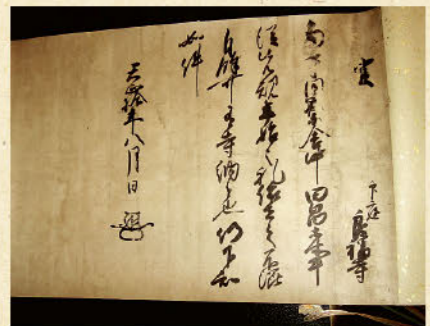
尾張旭市に残る史跡や文化財は、偉大な先人の足跡を伝える貴重な財産です。

水野又太郎良春

尾張旭市には豊かな歴史・文化を象徴する史跡や神社仏閣など数多くの文化財が残されています。市内で最も年代の古い文化財は長坂遺跡で、発見された弥生時代の竪穴住居と土器などから弥生時代には「ムラ」があり、人が暮らしていたと考えられます。権力を持つ支配者の存在を示す古墳も多数発見されています。

城山公園にある新居城跡など市内各地に残る城跡は中世に豪族たちによって築かれました。戦国時代には

みずのまたたろうよしはる



織田信雄(おだのぶかつ)書状



木造聖観世音菩薩立像



印場大塚古墳

江戸時代になると現在の市域の原型となる集落が発展し、名古屋と瀬戸、瀬戸と信州を結ぶ瀬戸街道の中継地点として人や物資が盛んに往来してにぎわいました。

尾張旭にはすばらしいレガシー(遺産)を遺してくれた偉大な先人たちがいます。その代表的な人物が水野又太郎良春と毛受勝助家照です。水野又太郎良春は南北朝時代、新居村(現在の新居町等)を開き、彼が村人に教えた棒術は、尾張旭市を代

豊臣秀吉と徳川家康が争った小牧・長久手の戦いの戦場になりました。

江戸時代

表する無形民俗文化財の棒の手「無二流」として伝わっています。毛受勝助家照は稲葉村(現在の稲葉町等)出身で、戦国武将の柴田勝家に仕え、戦功をあげました。稲葉地区に伝わる棒の手「検藤流」は、彼の子孫が開いたと伝わっています。

毛受勝助家照



11月

農業まつり

市内の農家が生産した農産物の展示・品評会や即売会、植木の無料配布などが行われます。



12月

あさひ冬フェスタ

市内各所でイルミネーションをはじめ、魅力的な催しが繰り広げられる尾張旭の冬の風物詩です。

10月

市民祭

ライブイベント、食の広場、伝統芸能の上演など多彩なイベントで盛り上がります。



4月

城山公園さくらまつり

期間中、夜間はライトアップされ、週末にはイベントなどが開催されます。



8月

たのしい夏まつり

大盆踊り大会や和太鼓演奏などのステージ、模擬店など多彩なイベントで盛り上がります。



未来につなぐ財産

輝く人・まち

一年を通して季節を彩る市民参加のイベントがまちのにぎわいと元気を創出しています。